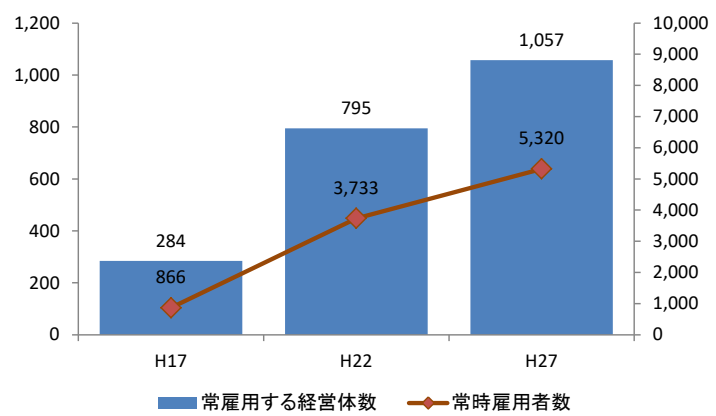


岩手の農業・農村の新たな動き・見込まれる社会経済情勢の変化

担い手

- 労働力確保に向け常雇用する経営体が H17 の 4 倍に増加
雇用者についても H17 の 6 倍に増加



- ICT などの省力化・安定生産につながる革新的な機器・技術を活用するスマート農業の進展

スマート農業
ロボット技術、ICTを活用して、超省力・高品質生産を実現する新たな農業

- 農業委員会や牛飼い女子など女性農業者の活動の場の拡大



産地づくり

- 東京オリ・パラへの食材提供等に向け GAP の取組が拡大 (県内のGAP取得状況)

グローバルGAP	アジアGAP	JGAP	県版GAP
2	1	9	1



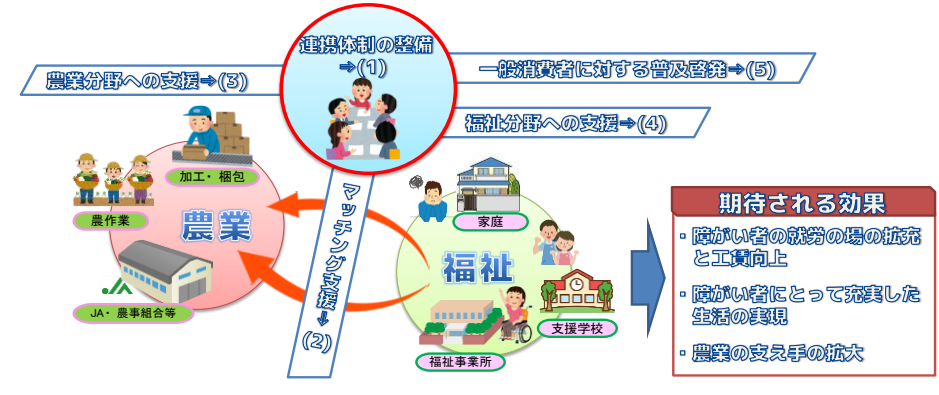
※いわての農業オリンピック・パラリンピアン応援宣言

- 米政策の見直しに伴う水田への園芸品目の導入、醸造用ぶどうの生産、ほうれん草等の機能性成分の研究、ゲノム技術による優良肉用牛（種雄牛）の早期造成などの取組が進展



※水田でタマネギを栽培・機械による収穫作業（花巻市）

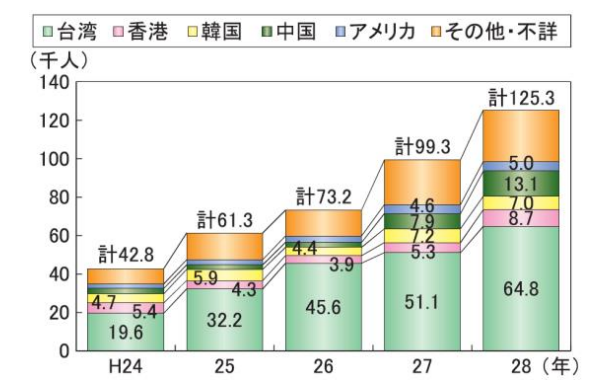
- 農福連携による障がい者の農業分野での就労機会の増加



高付加価値化・農山漁村の活性化

- 外国人観光客の増加や県産米の輸出拡大など県産農畜産物の販路拡大の好機

- ・外国人延べ宿泊者数は5年連続で増加



- ・県産米の輸出は H25 に比べ金額 2.5 倍、数量 3.2 倍に増加

区分	H25	H26	H27	H28	H29	H29/H25
輸出額(百万円)	54.0	60.3	54.7	101.2	133.7	248%
輸出量(t)	204.2	230.2	313.4	654.4	659.9	323%

※輸出先：シンガポール、米国、ベトナム等

- 中山間地域の活性化に向け策定した“いわて農業農村活性化推進ビジョン”に基づく取組等により都市農村交流人口の拡大に向けた取組が進展

- ・古民家を活用した宿泊施設や交流施設、農家レストランの開設

市町村	施設名	利用	利用者数
西和賀町	母ちゃんの店わがや	農家レストラン	7,000人
一関市	骨寺村荘園休憩所	休憩・宿泊所、軽食	1,600人
遠野市	大森家	農家民宿・レストラン	600人

- ・首都圏の小・中学生を対象とした農産物の収穫から調理まで行う農業・農家生活体験の受入れ

市町村	主な受入メニュー	受入数
葛巻町	畜産体験（牛の乳しぼり、羊の毛刈り等）	3,100人
奥州市	水田作業体験（田植え、稲刈り等）	5,600人
陸前高田市	果樹作業体験（りんご栽培管理・収穫）	600人

- 農業・農村の価値の再認識による田園回帰・定年帰農の動き

項目	H22	H26	H27	H28	H28/H22
定住者数(人)	808	1,107	1,387	1,333	165%
うち就農関連(人)	31	12	15	6	19%

今後、見込まれる社会経済情勢の変化

- ### 国内
- 人口減少・高齢化の進行、高齢者世帯・単身世帯・夫婦のみ世帯等の増加
→消費構造の変化：食料消費量の減、外食・調理食品の利用機会増 など
 - 国際化の進展 → 畜産物を中心に国内価格への影響懸念 など
 - 温暖化の進行 → 豪雨等の増加、栽培適地の変化・品質低下など

- ### 国外
- 世界人口の増加：肉類や穀物（飼料用、食用）の需要増加
→ 高品質な県産食材の輸出拡大の好機
輸入飼料等の高騰・不足の可能性 など
 - 温暖化の進行 → 災害・食料など気候変動の影響の高まり